

第87回メーデー

県内各地でメーデー！ 労働者の連帯深める！

5月1日（日）のメーデーは、快晴に恵まれ、水戸の中央メーデーを始め、鹿行、つくば、古河、猿島など、県内5ヶ所で開催し、交流会などで連帯を深めました。

水戸では、水戸市千波公園はなみずき広場にて約100人余の参加者が、思い思いの垂れ幕、看板、幟などを携えて集まりました。榊原徹実行委員長（茨城労連議長）が戦争をする国づくりをすすめる安倍政権を批判し、「参院選で国民と労働者のための政治を実現しよう」と主催者のあいさつを行いました。労組・民主団体の代表がそれぞれに持ち寄った要求の実現をめざしてたたかう決意を表明。「年金の切り下げは許さない」（年金者組合）、「TPPの批准絶対反対」（農民連）、「立憲主義をとりもどそう。川内原発は停止せよ」（水戸翔合同法律事務所）と訴えました。



鹿行地域では、鹿行地域春闘実行委員会が主催し、鹿行労連に結集する労働者だけでなく、民商、農民連、平和委員会や地域の方々に約100人が参加しました。

午前10時開会、議長挨拶や来賓挨拶、参加団体のリレートーク、政党からの挨拶のあと、決議文を採択しました。

その後11時から約1時間かけて神栖市内をデモ行進。その後会場に戻り、午後3時まで交流会を行いました。

交流会では参加団体ごとに食べものを持ち寄り交歓しました。年金者組合はランドゴルフを用意し、商品も用意されていたこともあって大いに盛り上がりました。



～百里通信～ 九条の丘（旧射爆場跡）を、花いっぱい！

みなさんと協力して、定期的な除草作業を継続しています！

3月22日（火）に、今年最初の「九条の丘」の整備作業を6人で行いました。2年前からの整備作業と時期の関係もあって、丘にはまだそれほどの草は茂っていませんでしたが、何しろ急な斜面でしたから、大変な作業ではありました。

かなり前に、戦闘機マニアによって捨てられた空き缶もたくさん出てきました。せっかく整備したこの丘を「花咲く丘」にしようという話を持ち上がり、さっそく花の種を撒いてくれた

参加者もいます。今後も定期的に作業を行い、花いっぱいの丘にしていきたいと考えています。

みなさんのご協力をお願いします。

今回は、5月19日（木）9時30分から、草刈り、片づけなどを行います。刈り払い機、鎌、ノコギリ等の道具、弁当を持参して下さい。



最新への扉一。 いまだ、開かれず

二人の死刑囚

全ての「冤罪」被害者を救う
ために！ 茨城披露上映会

とき 2016年6月17日（金）

① 14時～15時30分「映画上映」
15時30分～16時
「袴田秀子さんと桜井昌司さんの対談」

② 18時30分～19時
「袴田秀子さんと桜井昌司さんの対談」
19時～20時30分「映画上映」

ところ 茨城県民文化センター小ホール
※前売券 1000円（当日券1300円）

主催：映画「二人の死刑囚」
茨城披露上映実行委員会

連絡先：国民救援会茨城県本部
Tel/029-253-1214
水戸翔合同法律事務所
Tel/029-231-4555
茨城映画センター Tel/029-226-3156

「新百里会館」完成！

百里基地関係の学習会などで！

待望の「新百里公民館」が完成しました。今までの古い公民館をお借りして、平和農園の交流会等を行ってきましたが、この数年は使用不能の状態でした。今後は地区のみなさんから新公民館をお借りすることになります。

調理場もあり、みんなで料理して食べることもできますし、宿泊もできます。もちろん暖冷房も完備で、駐車場もあります。3月5日（土）の交流会では、さっそく使わせて頂きました。

戦争法が3月に施行された最初の国政選挙。夏の参議院選挙の去就を占うといわれていました。自民党が不戦敗に追い込まれた京都3区では民進党候補圧勝し、北海道5区は自民党候補が辛勝しました。

▼京都3区の補選は戦後最低の投票率

京都3区では、共産党が自主的に候補者を降し、勝手連的に民進党の候補者を応援したこともあり、民進党候補は6万5000票を獲得、次点のおおさか維新候補に3倍以上の大差をつけて当選しました。投票率は戦後最低の30.12%。戦後の衆議員選挙で最低だった昭和22年の新潟1区の投票率32.95%を下回りました。

▼北海道5区は、「自民圧勝が当然視」だった

北海道5区の衆議員補欠選挙は、自民党重鎮の町村信孝前衆議員議長の死去に伴うもので、「本来は圧勝すべきもの」でした。大方の予想を裏切、想定外の激戦になりました。

安倍首相は周辺から北海道5区の情勢を伝えられ、態勢強化を求めました。自民党候補は「甲い合戦だ」と力説し、公認候補である町村氏の娘婿に、「姓を『町村に変えてほしい』」と伝えました。しかし「選挙目的で姓を変えるのはフェアではない」、支持者からは「町村ブランド頼みでは厳しい」として改姓は見送りに。

▼池田真紀さんは4党（民進党・共産党・社民党・生活の党）と市民の共同で

池田真紀さんは、戦争法廃止などを共通目標にした4党（民進党・共産党・社民党・生活の党）の選挙協力と市民の共同に乗り、「戦争法強行の安倍政権に審判を下す」と訴え、同時にシングルマザーとして2人の子どもを育てた経験と介護や福祉の現場で20年間の経験から「憲法の生きる政治の実現」「誰一人置いてきぼりにしない社会をつくろう」と、呼びかけ、共感を大きくひろげました。

結果は、12,000票の差で惜しくも当選を逃しました。しかし、当初は自民党候補のせなかも全く見えなかった状況から、投票1週間前の調査では完全に抜いたといわれるまでに追いついたのです。



▼戦争法廃止を軸に、野党と市民による共同の候補者の力は大きい

そもそも補選の投票率は極端に低いのが普通です。同じ日に行われた京都3区の衆院補選のように低投票率です。まして「前衆議員議長の後継者」対「全く無名新人候補」なら猶更です。それが前回衆院選よりわずか0.8%低だけの「57.63%」になったのは、候補者の資質がよかったことと相まって、有権者に「野党と市民の共同で候補者」を示し、「自民党はいやだが、投票したい候補者もいない」状況を打開したからです。

圧勝のはずの自民党は非常な苦戦を強いられた結果、まだまだ予断は許されないものの、安倍政権が狙う参議院議席の3分の2を目前に衆参同日選挙は出来なくなったといわれます。

▼野党共闘のなかで、選挙の出口調査によると

- ① 民進党支持者の95.5%以上、共産党支持者の98%以上が池田さんに入れた。
- ② 支持政党なしの70%が野党統一候補に入れた。
- ③ 2万票を持つと言われていた新党大地は自民候補を支持した。しかし支持者の70%が統一候補にいれた。と報道されています。自公与党による「民共合作」などの反共攻撃、分断工作の影響はなく、民進党支持者、無党派層にも共産党アレルギーがないことがわかりました。
- ④ 北海道5区は、8つの市町村で構成されていますが、4つの市で統一候補が勝ちました。
- ⑤ 統一候補は、千歳市で11,152票、恵庭市で6,385票の差をつけられました。千歳市は人口9万6000人。航空自衛隊基地と陸上自衛隊の2駐屯基地があり、約9000人の自衛隊員が住み、家族や退職者を含めると人口の約3割は関係者と言われます。隣接する恵庭市は、人口約69,000人、陸上自衛隊の3駐屯地があり、約3500人の隊員が住んでいる。自衛隊の存在が大きく影響していることが考えられます。



自公政権による、争点隠しと反共攻撃の分断攻撃

当初こそ「甲い合戦」だとして圧倒的優位に立っていた自民党候補でした。しかし選挙では戦争法には一切触れず「争点隠し」を行う一方、野党第一党の民進党と野党第二党の共産党連携したことを非常に恐れ、共産党を含む野党と市民の協同を「民共合作」などを反共攻撃に集中するほかなかったようです。

自公は業界の締め付け利益誘導とで死にもの狂いに

週刊誌等によると、自民党は毎日200人~300人以上の議員、議員秘書を現地に派遣し、彼らは表には出ないで特にゼネコン関係の会社を締め付け、期日前投票を強化しました。「表には見栄えのいいといわれている小泉進次郎を出し、多くは裏に回って業界への利益誘導と締め付け」は、昨年行われた宜野湾市長選挙と全く同じ構図です。

さらに自民党は、「統一候補にリードされている」情報から、菅官房長官が公明党・学会幹部と「埼玉・兵庫選挙区での公明党候補者の支援」「W選なし」の密約を交わした。その結果、創価学会は「全国の婦人部の幹部に連絡を回し、部員に北海道の知人へ片っ端から電話をかけさせた」「選挙区内の集会では予定の2倍の人数を動員し」、予定の3日前には「仕上がった」という感触を受けたといえます（週刊現代）。

「選挙に行かない」は自公による悪政への白紙委任！

市民連合の提唱者の中野晃一さんも「自民党の支持率は16~18%。野党が分裂しているから自民党は負けない。野党が共闘すれば勝てる。」と言っています。

野党と市民による候補者を作り出すことの重要さと、その持っている力とに大きな展望を与えてくれた、北海道5区の衆議員補選でした。

